

農産九州ブロック設立

意見噴出、九州は熱かった!

9月22日、熊本市にて、第一回の農産部会九州ブロックの会議が開催されました。参加者は合計20名。幹事の右田秀利さん(草枕グループ・熊本県)の呼びかけから会議はスタート。事務局からこれまでのRadixの活動の報告を行ない、九州ブロック設立についての討議が始まりました。

News

■くやしかでしょう!

「今年んラディックスは、そりゃあ見違えたです。じゃけんが、その活動は本州ばかりですけんね、くやしかでしょうが。九州でも、もっとやれることあるかと思うとです」。「経営者が変わる前には、どうなることかと思ったりしましたが、ここに来てようやく安定してきた。これからは地域ごとにまとまっていきましょう」。

右田幹事の呼びかけは思いが込もり生産者に響きます。「Radixって何?という生産者はまだまだ多いし、らでいっしゅとRadixの区別もあいまいな感じがする」。「本来な



「九州でも、もっとやれること」をこの九州ブロック設立を機にどんどん模索していきます!

ら総会があって、規約が改正されて、ブロックの立ち上げというのが順序なのでは?」

ブロック設立について、生産者からは様々な角度から疑問百出。応えて事務局竹内、「そもそも地域ブロックという発想は規約上のものではなくて、農産部会の発案、みなさんへの提案」 「Radixの会の出発点はらでいっしゅであり、これまで生産者が主体ではなかったのは事実だが、この構造に立って、生産者主体で進める枠組みを作るべく、軌道修正をしていこうというのが主旨」と必死に応戦(?)……。

■今こそまとまっていこう!

結果として「農家にとって厳しい今こそみんなでまとまってがんばろうと声をあげるにはいい機会」。「情報交流ができるという面では九州ブロックの立ち上げは賛成」との方向で意見がまとまり、全会一致で九州ブロック設立が決定。

やるならやるぞ! 一旦意見がま



司会の事務局長、やや緊張の面持ち。今日の会議は盛り上がるのか?

とまると今度は積極的な発案が続出。九州で勉強会をしよう。農業は地域型でやらないと、土壌ひとつとってみても違って来る。全国型の共通ものは全国でやればいいが、参加できる生産者は別として、地元でないという人もいるだろうから、そのひとたちも参加していけるようにしよう。生産者の出会いの場をつくろう。最初は一度顔合わせということで進めてみよう……。などなど、九州は熱かったです。

※会議議事録は九州農産会員の皆様にご送付させていただきました。

Radix農産九州ブロック設立会議 議事内容

■決定：九州ブロックの設立・協力について、全員一致で承認。

■確認：運営の内容は、様々なご意見をいただき、未整理の課題も含め今後組み立てていく。

■決定：ブロック幹事の選任については以下のとおりとし運営を開始する。

①九州ブロック代表として本年度中は右田幹事。②北(福岡・佐賀・長崎)、中(大分・熊本)、南(宮崎・鹿児島)の3地区。③各地区ごとの代表者を、北=長有研、中=宮崎有機(小泉正浩さん)、南=水の子会とし、長有研、水の子会の代表者は、それぞれ会に持ち帰り検討の上9月中旬にRadix事務局まで検討結果を連絡し決定(その後各団体より、水の子会は中嶋氏、長有研は城谷氏とのご指名がありました)。

※九州ブロック会議、参加者合計20名。ありがとうございました(順不同、敬称略)

○めぐみの会：小ノ上・小島(福岡県) ○長崎有機農業研究会：近藤(長崎県) ○ながさき南部生産組合：近藤(長崎県) ○丸長園芸研究会：生田・河野(長崎県) ○水の子会：高木・中嶋・今村・榎永・鹿内(熊本県) ○肥薩自然農業グループ：新田・堤田(熊本県) ○宮崎有機農業研究会：長嶺(宮崎県) ○かごしま有機生産組合：大和田(鹿児島県) ○生産者幹事：右田(草枕グループ・熊本県) ○特別会員幹事：後藤(らでいっしゅぼーや商品部長) ○農産部会委員：横山(らでいっしゅぼーや農産開発課長) ○事務局：竹内・島田